

北信教育事務所だより



～子どもに発し、子どもに還る 学校づくり・授業づくり～

令和6年5月31日 第2号

学校教育課では「子どもに発し、子どもに還る 学校づくり・授業づくり」の目標のもと、今年度の各事業を推進する上での合言葉を「願いの実現へ共に創る一歩」として、各事業を推進しています。4、5月に実施した事務所の研修について紹介します。

初任研スタート研修

先生方は初任者の頃、授業づくりや学級づくり、子どもとの関わりについて、どのような願いをもっていましたか？そして、今はどのような願いをもっていますか？

4月16日、今年度も初任者研修がスタートしました。

初任者の先生方が自分の願いを自覚し、その実現に向けた一歩としてどのようなことに取り組むかを考えるきっかけにするため、現在抱えている「授業づくり」や「学級づくり」、「子どもとの関わり」における願いをシートに整理し、互いに伝え合うグループワークを行いました。（指導主事も初任者の頃に抱いていた願いを発表しました）



願い記入シート①

「授業づくり」について

○生徒が「解きたい！」と思うような課題の設定
○生徒1人1人の表情を見る授業

願い記入シート②

（「学級づくり」「子どもとの関わり」について）

子ども自身が安心できる
やりたいことを「やりたい」と伝える

願い記入シート②

（「学級づくり」「子どもとの関わり」について）

否定から入らない
～できる状況づくり～

願いを語り合う中で、その願いをもった理由や目指す教師像、さらには今抱えている悩みや困り感などにも話が膨らんでいく場面もありました。同じ立場の仲間がどのようなことを考え、感じているのかを共有したことで、新たな視点や次の一歩を踏み出すエネルギーを得ることができた先生方も多かったようです。



グループで話すことで自分1人では考えつかなかったような話題や考え方に触れることができた。自分もいろいろ考えながら学級づくりや子どもとの関わりをしていきたい。



日頃感じていたことが自分だけではないのだと少しすっきりした。子どものために日々頑張っているエピソードを聞いて、自分もさらに頑張ろうと思った。

昨年度の初任者が、年度末に今年の初任者のために残してくれたメッセージをスライドで視聴しました。期待と不安を抱える今年の初任者の皆さんの背中を後押ししてくれる内容でした。

初任者ではない先生方も、勤務校やお近くの学校の初任者の先生と接する機会があると思います。お互いの願いの実現に向けて一緒に学び合う、という姿勢で、是非とも授業を公開したり、さりげなく声をかけたりしていただき、初任者の先生を支えていただければと思います。

「第1回研究主任研修会」

「探究する授業」の創造に向けた授業改善に向けて！ & 研究主任としての役割とは？



○研修1 協議「探究する授業とは」

研究主任の先生方がイメージする「探究する授業」や、スライドで紹介した「探究する授業」の事例を基にこれから取り組んでいきたいことや課題などを語り合いました。

日常の事象を扱い、社会性に目を向けた単元構想によって問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく

算数 第3学年 「表と棒グラフ」

町の図書館よりお知らせ

来月は読書月間です。そこで〇〇小学校さんに1ヵ月間、シリーズ本を貸し出します！学級文庫で本に親しんでください。

冒険シリーズの本を借りようよ。

人によって借りたいシリーズ本が違うからすぐには決められないよ。

借りて欲しいシリーズ本についてクラス内でアンケートを取って、人気があった本を借りるようにしようよ。

単元の学習問題 町の図書館からかりるシリーズ本を決めよう。



指導事項
イ 思考力、判断力、表現力等
(7) データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察し、思いだしたことを表現すること

「子どもの問いから始まる授業」というところが、グループ内で共通する意見でしたが、その授業を実現するために先生方が様々に工夫されていることを知ることができてよかったです。同時に、本校の研究を見つめ直すことができ、その価値を再発見できたのは大きな収穫でした。ぜひ自校に戻り、今日の学びを振り返り、先生方と情報を共有していきたいです。

研究主任
A先生



【研究主任会研修 当日スライドより】



「自校の授業研究をより進めたい」という願いの実現に向けて、語り合いから「探究する授業」の要素を共に捉えていくことを通して、自校へ戻っての授業改善の一步を見出す姿が見られました。

○研修2 パネルディスカッション・協議 「研究主任の役割とは」

昨年度まで各学校で研究推進の中核となっていた3名の指導主事をパネラーにしたパネルディスカッションを行いました。「研究主任として大切にしていたことはまず同僚の先生方を知ること」などのリアルな声を聴くとともに、フロアからも質問を受けて双方向の語り合いを実施しました。パネルディスカッションの後には、研究主任としての経験年数が異なるグループで「研究主任の役割」について取り組みたいことや今抱えている課題を語り合いました。



自分はまだ漠然とした中で研究主任という立場にいることを自覚できた。他校の先生方には、それぞれの思いやテーマがあり、そこへ向けるエネルギーを感じた。今日教えていただいた工夫を少しでも学校で実践していきたい。

グループの先生方やパネラーの先生方が「先生方の良いところを見ましょう、広げていきましょう」とおっしゃっていたのがとても心に残りました。研究主任2年目となり、どうしても先生方の授業の課題に目があって、「何とかしたい」という熱量が先走りそうでしたが、もっと先生方の良いところに目を向けた研究をしていきたいと思いました。自分の意識をかなり揺さぶられたので、明日からの研究に生かしていきたいです。



研究主任の先生方にとって、経験ある先生方が語る具体を聴くことでこれから何を始めていくかの見通しを持つことに大いに役立ったようでした。また、自校の授業研究を学校全体で進めたいという願いの実現に向け、授業研究のチームをどのようにつくっていくかや、研究会や通信のあり方などを共に語り合うことにより、明日から取り組む具体をつかむ一步となりました。

次回9月20日（金）は「探究する授業」の実践について共に学ぶ機会とする予定です。

第1回日々の授業改善研修

4月30日(火)

会場：長野合同庁舎

第1回目となる今回は35名の先生方が参加し、様々な願いや自己課題をもった先生方と共に、「コンプライアンスとサービスの基本」についての講話や、「授業・学級づくりの基本」についての講義およびディスカッションを通して、教師としての在り方や、授業・学級づくりについて学び合いました。

参加された先生方の願いや自己課題



- ・興味関心を引き出す授業づくりや題材
- ・ICTの活用事例
- ・活動と活動のつなげ方
- ・学級経営や学級づくり
- ・生徒の協働する場面の工夫
- ・主体的に考え、伝え合えるような授業
- ・見通しをもって取り組める導入
- ・ペアやグループの場合に応じた使い分け方
- ・他校の健康観察の実施方法や学校保健委員会の開催方法

講話：「コンプライアンスとサービスの基本～誠実は信用の基 熱意は発展の基～」

講話では、教育公務員の使命や義務について再確認しました。コンプライアンスについては、非違行為やそれを起こしてしまったことによる法的責任や負の影響について、具体を通して考えました。

【先生方の声】

- ・学校でも非違行為の研修は行っているのですが、自分の身を守るためにも「非違行為をしない」ということを大切にしていきたいと思いました。そのためにも、自分の行いを日々振り返りたいと思います。
- ・生徒だけでなく、信頼してくださっている保護者の方、先生方、そして自分の家族も悲しませることにつながることを改めて認識することができました。

講義「授業づくりの基礎・基本～授業づくりはどのように考える?～」

講義では、学習指導要領や、長野県教育委員会の「教育課程編成・学習指導の基本（*通称『青本』）」の内容を基に、資質・能力の育成につながる授業づくりについて研修しました。

【先生方の声】

- ・学習指導要領に立ち返ることの大切さを忘れないようにしたい。何を学び、どんな力をつけるのか明確にしてから授業を行うことを心掛けたい。
- ・学習の目標や課題を柱としてはっきりとさせておくことが重要だと学んだ。目標に照らしながら、目の前の子供の実態に合わせて、学習方法や教材提示の方法を工夫していきたい。

グループディスカッション

後半のグループディスカッションは、各教科・領域等に分かれ、明日からの授業改善に向けて具体的に何に取り組んでいくかを指導主事も交えて語り合いました。



学校保健・保健室経営



算数・数学



参加者同士の語り合い

参加された先生方の感想、明日への一歩



- ・振り返りやまとめの視点で、学習問題に対するものと学習課題に対するものを使い分けることで、授業の展開に見通しをもって取り組むことができそうだと感じた。
- ・校内で一人職(養護教諭)という立場で、悩むことなどもありますが、担任の先生方や管理職の先生方に相談しながら一人で抱えず連携していければと思います。
- ・授業ごとのねらいを明確にし、音楽を形づくっている要素を常に考えられるような授業づくりをしていきたいと思います。
- ・この研修は、何度来ても他の先生方や主事の先生から学ぶことは多く、明日から早く実践してみたいものが出てきました。

【今後の予定】第2回日々の授業改善研修 7月12日(金) ぜひご参加ください!!

一人ひとりが尊重され 元気が湧いてくる
自分を見つめ、新しい自分を発見し、出会いから学ぶ

北信地区 社会人権教育研修会



日時：令和6年7月12日(金) 13:20～16:30 (受付開始12:50)

場所：千曲市戸倉創造館 (千曲市大字戸倉2305-1)

12:50	13:20	13:30	15:00	15:20	16:30
受付	開会行事	全体講演会 (90分)	休憩・移動	分科会 (70分) ※閉会行事を含む	

全体講演会 (13:30～15:00)

演題 「日本と日本人のための多文化共生推進」

講師 佐藤 友則さん [NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク) 代表理事
信州大学グローバル化推進センター 教授]

分科会 (15:20～16:30)

第1分科会 【学校における人権同和教育の取組】……屋代小学校ことばの教室 田玉 英子さん

第2分科会 【性的マイノリティの人権】……ダイバーシティ信州 小泉 涼さん

第3分科会 【女性の人権(男女共同参画)]……長野労働局 雇用環境・均等室 北原 江理さん

第4分科会 【ワークショップ「語り合い 気づこう 人権」]

……東信教育事務所生涯学習課 指導主事 中村 哲さん

○参加対象者

- (1) 県・市町村社会人権教育担当者(行政職員、公民館関係者、社会人権教育推進者 など)
- (2) 社会教育団体関係者(女性団体・青年団、社会教育委員、社会教育指導員、PTA など)
- (3) 学校人権教育関係者(幼稚園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校 など)
- (4) 人権擁護委員、民生児童委員、福祉事業関係者 など
- (5) 企業人権教育関係者(公正採用選考推進員、企業内人権教育担当者 など)
- (6) 人権教育実践力スキルアップ講座受講者
- (7) その他(人権問題に興味・関心のある方ならどなたでも参加できます)



<申し込み> 別紙様式【参加申込書】に必要事項をご記入の上、北信教育事務所へメールまたはFAXでお申し込みください。締め切りは6月26日(水)です。お問い合わせは担当者まで。

長野県教育委員会事務局 北信教育事務所 生涯学習課(担当:宮坂)
Tel:026-234-9552 Fax:026-234-9557
メール:hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp